

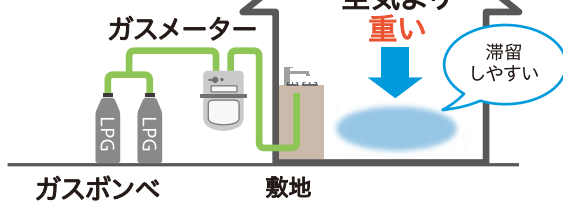
四国ガスは、地球の未来を見つめています

都市ガスのおもな原料は天然ガスです。
環境にやさしい未来エネルギーで、
毎日の暮らしを支えています。

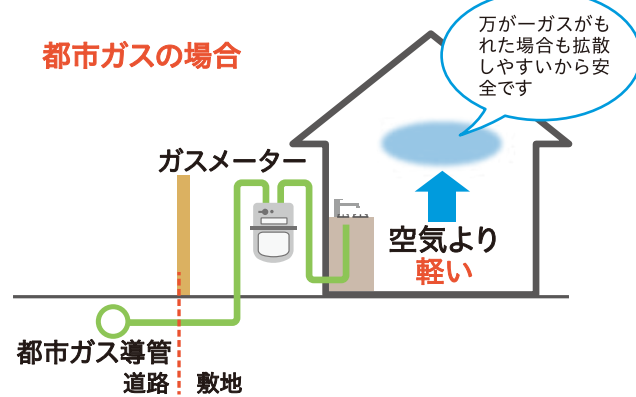


1 プロパンガスと都市ガスの違い

プロパンガス・ボンベ供給の場合

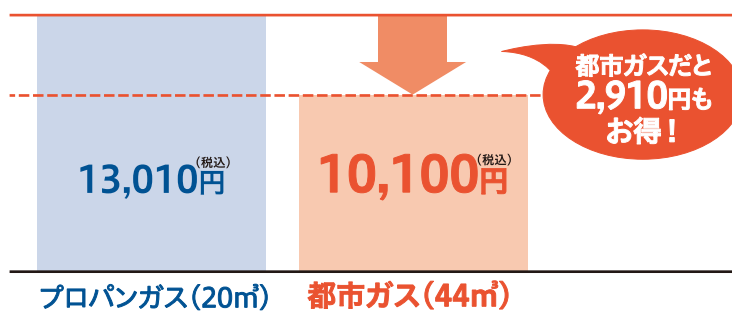


都市ガスの場合



2 都市ガスはガス料金がおトク!

1か月平均使用量(ファミリータイプ物件の場合)



※プロパンガスと都市ガス(天然ガス1.3A)では熱量が異なるため、プロパンガスの使用量(20m³)に相当する都市ガス使用量(44m³)と熱量が等しくなるように換算して表示。プロパンガス料金は石油情報センター「一般小売価格2018年8月四国平均値」を、都市ガス料金は、2018年8月分のベーシックプラン料金に基づき算出。

3 天然ガスが選ばれる理由

都市ガスのおもな成分である天然ガスは、ほかの化石エネルギーにくらべ環境への負荷が低い非常にクリーンなエネルギーです。

地球環境にやさしい天然ガス

天然ガスは、石油や石炭にくらべて燃焼時のCO₂やNO_xの排出量が少ない化石エネルギーです。また、SO_xは排出しません。

	石炭	石油	天然ガス
CO ₂ (二酸化炭素)	100	80	60
NO _x (窒素酸化物)	100	70	40
SO _x (硫黄酸化物)	100	70	0

◎石炭を100とした場合の放出量比較(燃焼時)

水素社会での活躍貢献

取り出した水素を使って、家庭用燃料電池「エネファーム」に供給したり、また、近い将来では、燃料電池自動車への水素供給などにも期待されています。



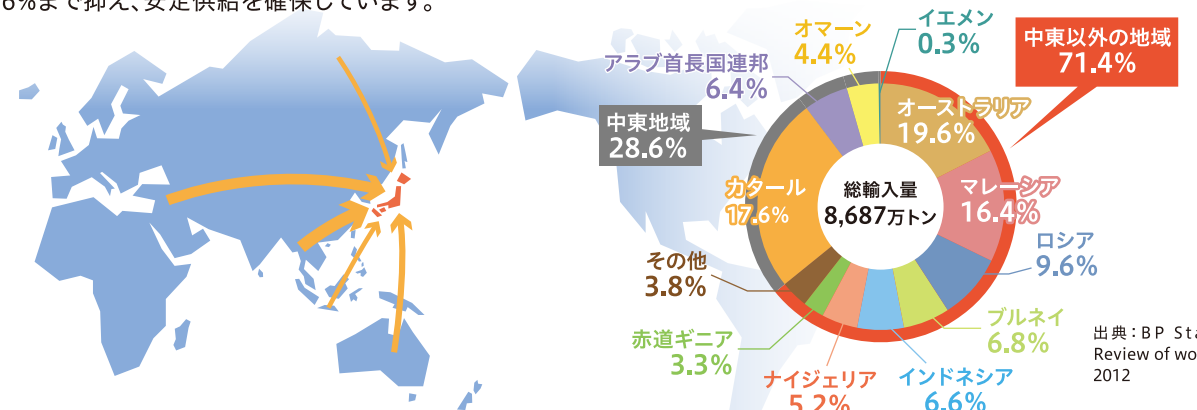
家庭用燃料電池



燃料電池自動車

世界中にあるから「安定供給」

石油や石炭にくらべると、天然ガスは世界中に分布しています。日本は天然ガスの輸入先を世界各国に多元化し中東依存度を28.6%まで抑え、安定供給を確保しています。



出典: BP Statistical Review of world Energy 2012

※四捨五入のため、合計があわない場合があります。